

# 県民モニター 第2回アンケート調査 結果概要

## 1 調査概要

- (1) 調査テーマ：「県民交流広場事業(仮称)」
- (2) 調査対象者：県民モニター503名  
(8月29日までの登録者)
- (3) 調査期間：平成17年8月31日(水)～9月12日(月)[13日間]
- (4) 調査方法：県ホームページ上のアンケートフォームに入力
- (5) 回答者数：339名(回答率67.4%)

参考 - 対象者及び回答者属性

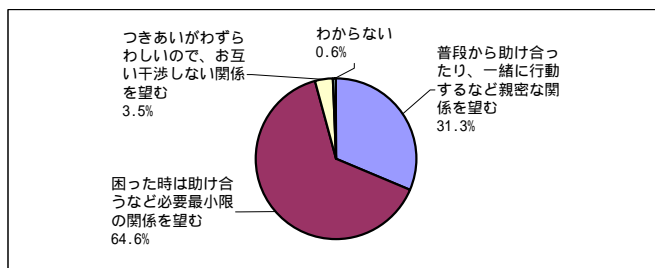
	対象者	回答者	回答率
総数	503	339	67.4%
(性別)			
男性	299	201	67.2%
女性	204	138	67.6%

## 2 調査結果

### コミュニティに対する認識

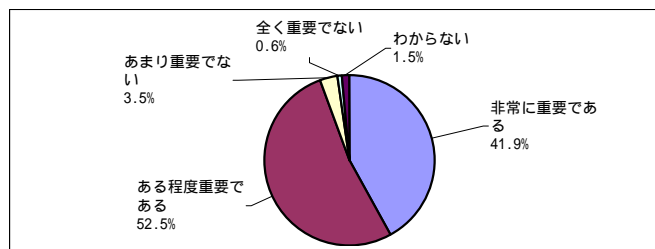
#### Q1 隣近所との関係について(1つ選択)

- (1) 普段から助け合ったり、一緒に行動するなど親密な関係を望む 31.3%
- (2) 困った時は助け合うなど必要最小限の関係を望む 64.6%
- (3) つきあいがわずらわしいので、お互い干渉しない関係を望む 3.5%
- (4) わからない 0.6%



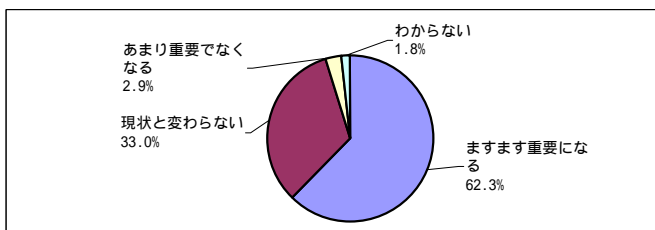
#### Q2 住んでいるコミュニティの役割の重要性について(1つ選択)

- (1) 非常に重要である 41.9%
- (2) ある程度重要である 52.5%
- (3) あまり重要でない 3.5%
- (4) 全く重要でない 0.6%
- (5) わからない 1.5%



#### Q3 コミュニティの重要性の今後の変化(1つ選択)

- (1) ますます重要になる 62.2%
- (2) 現状と変わらない 33.0%
- (3) あまり重要でなくなる 2.9%
- (4) わからない 1.8%



#### Q4 Q3の回答を選んだ理由(自由記入)

- 1 回答者の66.7%にあたる266人が記載
- 2 主な記載内容は以下のとおり

##### 1 「ますます重要になる」を選んだ理由について(173人が計219件)

- ・ 少子高齢化が進展し、高齢者を地域で支える必要があるから 68件
- ・ 災害時や緊急時などは、近隣に頼ることになるから 34件
- ・ 核家族化が進むとともに独居老人など単身世帯が増えるから 26件

##### 2 「現状と変わらない」を選んだ理由について(76人が計81件)

- ・ プライバシーを重要視するなど、個人を尊重する傾向があるから 18件
- ・ 今でも、ある程度のコミュニティ活動があり、現状維持でよいと思うから 15件
- ・ 居住地のコミュニティ意識は薄い、必要最低限の付き合いは行うから 15件

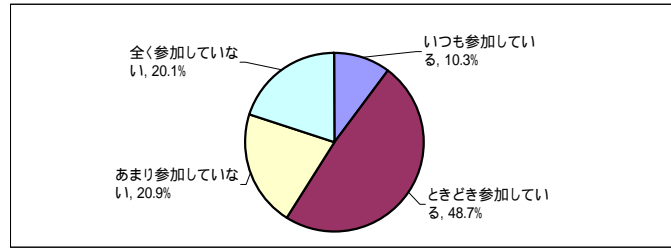
##### 3 「あまり重要でなくなる」を選んだ理由について(13人が計13件)

- ・ 個人志向が進み、コミュニティの必要性が少なくなるから 5件
- ・ マンションが増え、近隣とのつきあいがなくなっていくから 3件

コミュニティ活動について

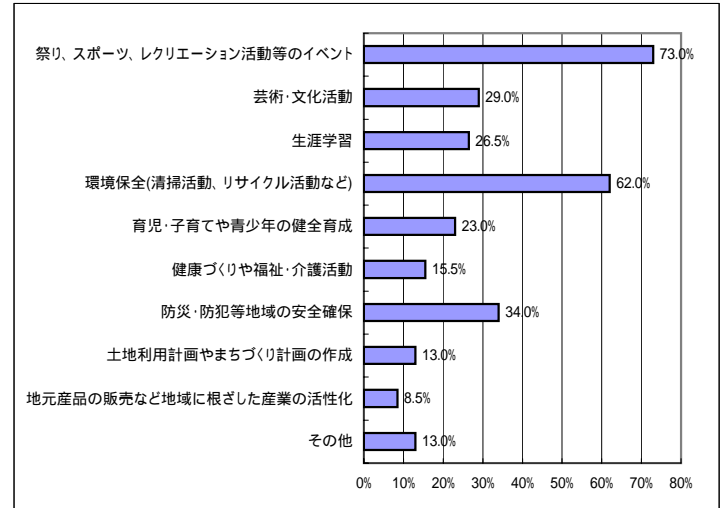
Q1 コミュニティ活動への参加状況について (1つ選択)

- (1) いつも参加している 10.3%
- (2) ときどき参加している 48.7%
- (3) あまり参加していない 20.9%
- (4) 全く参加していない 20.1%



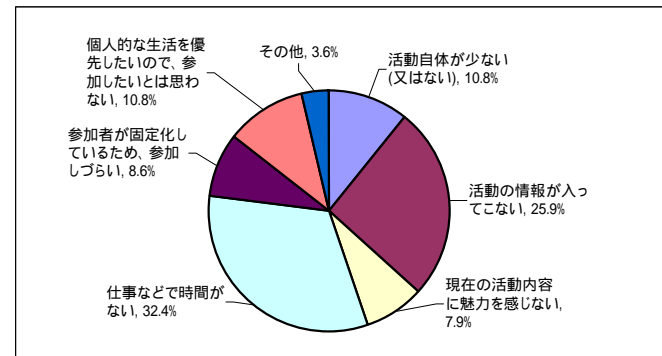
Q2 (Q1で(1)(2)回答者へ)主にどのような活動に参加しているか(いくつでも選択)

- (1) 祭り、スポーツ、レクリエーション活動等のイベント 73.0%
- (2) 芸術・文化活動 29.0%
- (3) 生涯学習 26.5%
- (4) 環境保全(清掃活動、リサイクル活動など) 62.0%
- (5) 育児・子育てや青少年の健全育成 23.0%
- (6) 健康づくりや福祉・介護活動 15.5%
- (7) 防災・防犯等地域の安全確保 34.0%
- (8) 土地利用計画やまちづくり計画の作成 13.0%
- (9) 地元産品の販売など地域に根ざした産業の活性化 8.5%
- (10) その他 13.0%



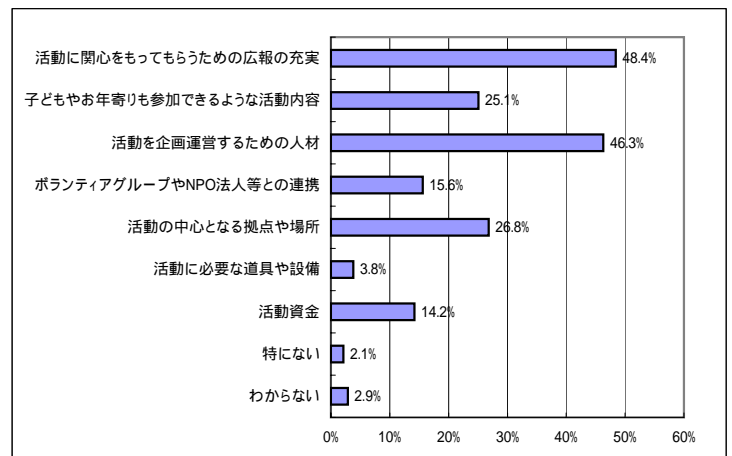
Q3 (Q1で(3)(4)回答者へ)活動に参加しない理由で最も当てはまるものは(1つ選択)

- (1) 活動自体が少ない(又はない) 10.8%
- (2) 活動の情報が入ってこない 25.9%
- (3) 現在の活動内容に魅力を感じない 7.9%
- (4) 仕事などで時間がない 32.4%
- (5) 参加者が固定化しているため、参加しづらい 8.6%
- (6) 個人的な生活を優先したいので、参加したいとは思わない 10.8%
- (7) その他 3.6%



Q4 活動を活発にし、より多くの人に参加できるようにするため必要なこと(2つ選択)

- (1) 活動に関心をもってもらうための広報の充実 48.4%
- (2) 子どもやお年寄りも参加できるような活動内容 25.1%
- (3) 活動を企画運営するための人材 46.3%
- (4) ボランティアグループやNPO法人等との連携 15.6%
- (5) 活動の中心となる拠点や場所 26.8%
- (6) 活動に必要な道具や設備 3.8%
- (7) 活動資金 14.2%
- (8) 特にない 2.1%
- (9) わからない 2.9%



Q 5 Q4で挙げた以外の項目等(自由記入)

1 回答者の38.9%にあたる132人が記載

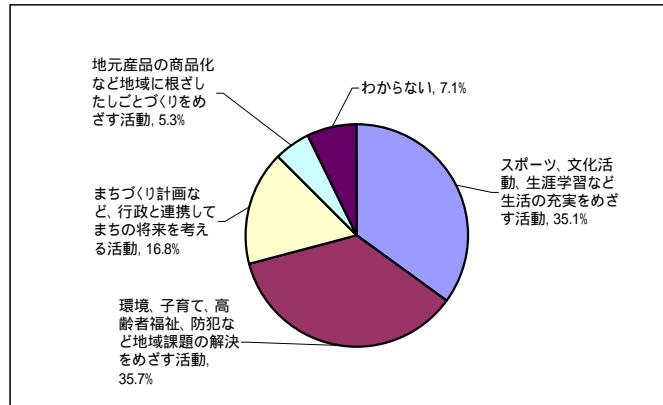
2 主な記載内容は以下のとおり

- ・企画運営の中心となるリーダーを育成し、参加者の輪を広げる 22件
- ・子どもからサラリーマン、高齢者まで幅広い世代が参加できる内容にする 22件
- ・平日夜間を問わず、一人でも参加できるような内容・環境づくりをする 21件

県民交流広場について (県民交流広場の概要及び16年度モデル事業を参考資料で紹介)

Q 1 身近な県民交流広場で特に参加したい活動(1つ選択)

- |                                    |       |
|------------------------------------|-------|
| (1) スポーツ、文化活動、生涯学習など生活の充実をめざす活動    | 35.1% |
| (2) 環境、子育て、高齢者福祉、防犯など地域課題の解決をめざす活動 | 35.7% |
| (3) まちづくり計画など、行政と連携してまちの将来を考える活動   | 16.8% |
| (4) 地元産品の商品化など地域に根ざしたしごとづくりをめざす活動  | 5.3%  |
| (5) わからない                          | 7.1%  |



Q 2 (Q1で選択した項目で)具体的にどのような活動を行いたい(自由記入)

1 回答者の67.3%にあたる228人が記載

2 主な記載内容は以下のとおり

Q 1で(1)「生活の充実」を選んだ人の意見(92人が計118件)

- ・語学学習やパソコン教室などの講座に参加してみたい 28件
- ・卓球などの気軽にできるスポーツをしてみたい 21件

Q 1で(2)「地域課題の解決」を選んだ人の意見(87人が計108件)

- ・子育て支援や子供会への参加など、子どもに関する活動をしてみたい 21件
- ・道路の清掃やごみ拾いなどまちの美化に関する活動をしてみたい 19件

Q 1で(3)「まちの将来」を選んだ人の意見(35人が計42件)

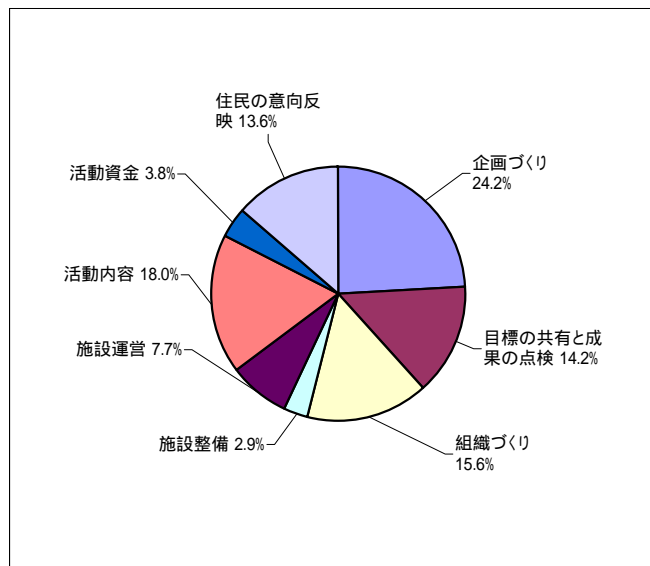
- ・地域の将来像を考え、まちづくり計画の策定に関わりたい 5件
- ・行政を交えた会合などを開き、住民の意見を聞く場を設けたい 5件

Q 1で(4)「地域に根ざした仕事づくり」を選んだ人の意見(11人が計13件)

- ・地元の特産物を生産・販売し、地域の特性を発信していきたい 6件
- ・フリーマーケットやバザーなどを開催したい 2件

Q 3 県民交流広場事業を充実し、コミュニティ活動を活発に展開するため最も重要なことは(1つ選択)

- |   |       |
|---|-------|
| (1) 企画づくり(目標、事業主体、施設の整備・運営、活動内容、資金計画等)          | 24.2% |
| (2) 目標の共有と成果の点検(めざすコミュニティ像や活動目標等の共通認識と継続的なチェック) | 14.2% |
| (3) 組織づくり(施設を管理し活動を企画・実施する適切な事業主体)              | 15.6% |
| (4) 施設整備(施設の改修等や設備・機器の整備)                       | 2.9%  |
| (5) 施設運営(利用しやすい申込方法や開館時間、常駐スタッフの配置など)           | 7.7%  |
| (6) 活動内容(活動内容の充実やPR、参加者を増やすための創意工夫)             | 18.0% |
| (7) 活動資金(会費や参加料、継続的な助成金の確保など)                   | 3.8%  |
| (8) 住民の意向反映(企画運営等、あらゆる面で住民意向をきめ細かく反映)           | 13.6% |



Q 4 Q3で選択した項目以外に重要と思われること(自由記入)

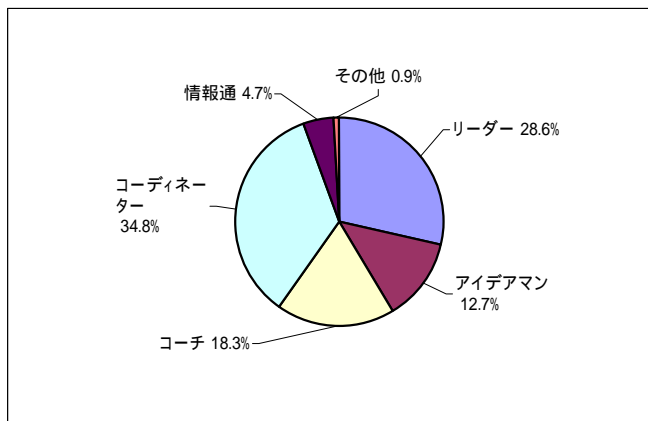
1 回答者の22.7%にあたる77人が記載

2 主な記載内容は以下のとおり

- ・住民の意見を聞き、企画等の検討に取り入れること 12件
- ・リーダーシップを取る人や経験豊富な専門スタッフ等の「人材」 11件
- ・事前予約等をなくしていつでも気軽に参加できるようにする 9件

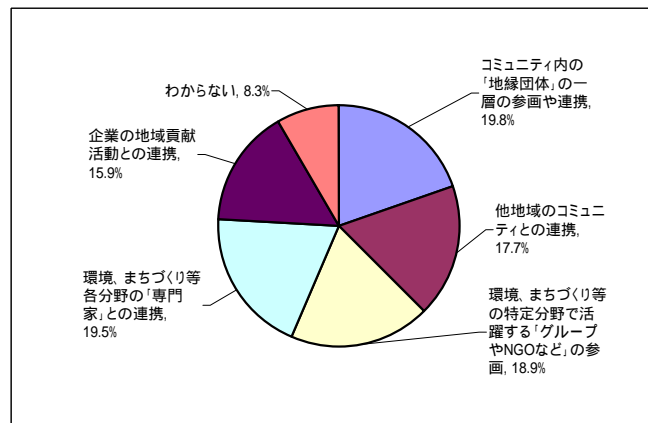
Q 5 地域のコミュニティ活動で最も必要と思われる人材は(1つ選択)

- |   |       |
|---|-------|
| (1) リーダー(地域をとりまとめ、活動や行動を牽引していく人)        | 28.6% |
| (2) アイデアマン(どのように活動を広げていくかなどのアイデアを出す人)   | 12.7% |
| (3) コーチ(アイデアを工夫・改善し、意見調整して、具体的プランをつくる人) | 18.3% |
| (4) コーディネーター(地域で助け合えるよう、人や活動を結びつける人)    | 34.8% |
| (5) 情報通(地域づくりに役立つ情報を教えてくれる人)            | 4.7%  |
| (6) その他                                 | 0.9%  |



Q 6 コミュニティ活動の活性化のため、特に参画が求められる組織や人は(1つ選択)

- |  |       |
|--|-------|
| (1) コミュニティ内の「地縁団体」の一層の参画や連携            | 19.8% |
| (2) 他地域のコミュニティとの連携                     | 17.7% |
| (3) 環境、まちづくり等の特定分野で活躍する「グループやNGOなど」の参画 | 18.9% |
| (4) 環境、まちづくり等各分野の「専門家」との連携             | 19.5% |
| (5) 企業の地域貢献活動(資金提供や従業員ボランティア等)との連携     | 15.9% |
| (6) わからない                              | 8.3%  |



県民交流広場事業全般について

Q 県民交流広場事業(仮称)の取り組み全般についての意見・提案(自由記入)

1 回答者の42.8%にあたる145人が記載

2 記載内容(合計171件 複数項目の記載あり)を分類すると以下のとおり

- ・誰でも気軽に参加できる、参加したいと思うような雰囲気づくりをしてほしい 25件
- ・もっと、この事業について県民に広報する必要がある 20件
- ・コミュニティの重要性は増すと思うので、事業に期待している 15件
- ・地域の特性や個性を活かした活動内容にしてほしい 12件
- ・住民の意見を聞いて事業に反映させるなど、地域と行政の連携が必要である 8件
- ・一部の人だけが恩恵を受けるような活動にはしないほしい 6件